
I'll love you foreve...

もとプロくん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

I l l l o v e y o u f o r e v e . . .

【Nコード】

N 4 5 2 3 A

【作者名】

もとプロくん

【あらすじ】

1年半付き合った二人の別れを描いた短篇。

一年半くらい前だろうか…。

僕が君に告白したのは…

今更考えても仕方がないけど、楽しかったよ。

今は4時50分。電車の発車は5時ちょうど。その電車で君は都会へと行ってしまふ。夢を追うため、都会の有名な高校に入る。仕方ないこと。

でも、もう少し。あと少しでいいから、一緒にいたかった。もっと、いろいろな話がしたかった。もっと、いろいろなところへ連れて行ってあげたかった。

でも、そんな気持ちを声にだすことができない。君に伝えることができない。悲しいはずなのに涙も出ない…。何もしゃべらない、いや、しゃべれないままにときは流れていく。

カンカンカン…

駅のホームにある踏切の遮断機があり、音が鳴り響く。

電車が来たのだろう。二人は立ち上がる。

キー…

電車が停まり、ドアが開く。

無言で乗り込んでいく…

また長い沈黙…

ピイイ…

とうとう発射の笛がなる。ドアがしまっていく…

そんな中、僕には君の口がこう動いたように見えた。

「ありがと…」

ドアが完全に閉まり、ゆつくりと動き出す。君の目にも、僕の目にも涙が浮かぶ…。

そしてそのまま電車はスピードを上げて走り出す。

僕はその場に立ち尽くした。

振り向けば、桜が散りゆくではないか。

僕らの恋に終わりがきたとでも言わんばかりに…。

涙が止まらなくなった。

それでも、僕は誓った。

I'll love you forever...ずっと君を

好きでいます…。

と。

（後書き）

最後まで読んでくださった方。本当にありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4523a/>

I'll love you foreve...

2010年11月8日00時34分発行